



## 日本初！ 空港内に医薬品専用共同定温庫を整備

～医薬品輸送のオンリーワン空港を目指した関空の物流戦略～

近年、医薬品貿易は日本メーカーの海外進出、外国メーカーの日本への生産拠点展開等によって、航空物流の中でも大きなシェアを占めるようになってきております。特に関西圏は関連生産拠点や研究開発拠点が集積しており、関空の医薬品輸入額は開港以来過去最高の4,281億円（2009年）で輸入額全体の18.3%を占めております。

医薬品は航空輸送のスピード・信頼性ととも、特に温度管理を厳密に徹底した輸送が求められており、世界的にも「コールドチェーン輸送」・「クールチェーン輸送」と呼ばれる取組み、輸送方法の開発競争が盛んになってきています。

関空では、このような業界のニーズに先駆けて戦略的に対応するために、日本の空港内では初となる「医薬品専用共同定温庫の整備」をはじめとする、「医薬品輸送のオンリーワン空港」を目指した本格的な取組みを開始いたします。

### 1. 日本の空港内では初！「医薬品専用共同定温庫」の整備

- 床面積 : 750 m<sup>2</sup>
- 管理温度帯 : 20℃ 約 650 m<sup>2</sup>    5℃ 約 100 m<sup>2</sup>
- 取扱最大容量 : 約 800 トン/月
- 運用事業者 : キャセイ関西ターミナルサービス(株)
- 運用開始時期 : 2010年9月30日（木）（予定）
- その他特徴  
『共同上屋方式』として航空会社様、貨物事業者様、荷主様でも利用可能  
ランプサイドに面する施設であり航空機搭卸載に迅速に定温庫に搬出入が可能  
関西国際空港全体構想促進協議会より利用料金支援制度あり  
環境に配慮した太陽光パネル導入を計画

### 2. 空港会社としての初出展！「医薬品・化粧品物流EXPO」への出展

- 出展イベント：『医薬品・化粧品物流EXPO』  
（主催：リード エグジビション ジャパン株式会社）
- 開催期間 : 2010年6月30日（水）～7月2日（金）
- 開催会場 : 東京ビッグサイト（東京都江東区）
- 共同出展企業  
ルフトハンザカーゴ、キャセイ関西ターミナルサービス(株)、  
(株)阪急阪神エクスプレス、エンバイロテナー、航空集配サービス(株)

### 3. 完全な温度管理輸送の推進！「定温輸送機材」の活用促進

「定温コンテナ」、「保冷シート」等の定温輸送専用機材の活用を積極的に促進し、機側エリアを含めた空港内の完全な温度管理輸送の推進を図って参ります。